

■大隈重信 財政・外交で手腕を発揮するも薩長藩閥から排除され、政党政治を先駆し、早稲田大学を創設した。

おおくましのぶ

適塾ワヅン・1838= 佐賀藩の上級士族の家に生まれた。

幼少から藩校弘道館で漢学を学び

阿部正弘首座1845= 7歳 :

..... 1847= 9歳 :

ペリー来航・1853=15歳 :

松下村塾・・1856=18歳 :

のち蘭学に移り,

桜田門外変・1860=22歳 :

ついで、長崎に遊学してアメリカ人フルベッキについて英学を学び世界的な視野を開くが,

8月18日政変 1863=25歳 : 尊攘派として長州藩の外国船砲撃事件を支持し,

薩摩藩士密航1865=27歳 :

大政奉還・・1867=29歳 : 脱藩上京し、徳川慶喜に政権返還を説こうとしたが捕らえられ、王政復古のときも藩主に討幕出陣を勧めたが入れられなかった。

明治維新・・1868=30歳 : 新政府の成立と同時に徴士参与職として外国事務局判事となり、キリスト教徒処分、贖貨処分などを担当。

初の日刊新聞1870=32歳 : *参議となり、工部省の設立、鉄道・電信の建設,

外国官副知事、会計官副知事、民部大輔、大蔵大輔、大蔵省事務総裁、地租改正事務局総裁を経て,

明治6年政変 1873=35歳 : 大蔵卿となり、地租改正、幣制改革、秩禄処分などを主宰、いわゆる“大隈財政”を展開する。

佐賀の乱・・1874=36歳 :

また、三菱汽船会社を助成し、三菱財閥との関係を深めた。

明治14年政変1881=43歳 : *国会即時開設論を主張し、開拓使官有物払下げに反対して自由民権派と通じているとみられ、薩長藩閥と衝突し、多数の大隈派官吏とともに辞職<明治14年の政変>。

新体詩抄・・1882=44歳 : *小野梓、矢野文雄らと立憲改進黨を組織して党首となり、藩閥政府に対立する民党の首領となるかわら、東京専門学校を創立、謀叛人の学校と烙印されて公式には関係せず、在野の教育運動を開始。

岩倉具視没・1883=45歳 :

初の対等条約1888=50歳 : 外務大臣となり、条約改正にあたったが国権論者に反対され、

帝国憲法発布1889=51歳 : 排外主義者による爆弾事件で右脚を失い、辞職。

大本教・・1892=54歳 :

日清戦争始・1894=56歳 :

白馬会・・1896=58歳 : 進歩党を結成して党首となり、第2次松方正義内閣の外務大臣となったが、

八幡製鉄始・1897=59歳 : 東京専門学校15周年記念式典で初めて公式に出席し演説。

子規句歌革新1898=60歳 : 板垣退助と憲政党を結成して日本最初の政党内閣(隈板内閣)を組織するが、薩長藩閥ならびに官僚グループの抵抗と党内の自由、進歩両派の対立から、みるべき政策を展開することなくすぐに瓦解。

田中正造直訴1901=63歳 :

教科書疑獄・1902=64歳 : 東京専門学校の組織を発展させ、早稲田大学と改称。

日露戦争終・1905=67歳 :

韓国反日暴動1907=69歳 : 早大の財団化とともに党首を辞して早大総長となり、初めて自らの学校の公式的肩書を持ち、貸与していた大学敷地の全てを寄付。「開国五十年史」を編み、

アヲキ創刊・1908=70歳 : “東西文明の調和”を目的として、大日本文明協会を設立、

韓国併合・・1910=72歳 :

大逆事件判決1911=73歳 : {新日本}を創刊するなど、文化活動を続けるうち、

明治天皇没・1912=74歳 :

第一次大戦始1914=76歳 : 第1次護憲運動後、立憲同志会を与党として第2次大隈内閣を組織。第1次世界大戦への参戦を決め、

21ヶ条要求・1915=77歳 : 中国に二十一ヶ条を要求するなど、日本を軍国主義と中国侵略へ導く役割を演じて、

民本主義・・1916=78歳 : *総辞職。

ベルサイユ条約・1919=81歳 :

水平社結成・1922=84歳 : 没した。葬儀は国民葬として行われた。

「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、「日本の群像」、平凡社百科事典、山田風太郎「人間臨終図巻」、「目でみる日本人物百科」、